

平成27年度

21世紀土地改良区創造運動表彰

実施要領



全国水しりネット

2 1 世紀土地改良区創造運動表彰実施要領

1. 2 1 創造運動表彰の目的

平成13年にはじまった21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」という。）は、これまでに全国各地で多様な取り組みが展開されるとともに、愛称の普及も順調に進むなど、着実に浸透してきている。

こうしたなか、全国で模範となるような21創造運動を展開している水土里ネットを表彰し、全国に紹介するとともに、表彰を通じた関係者間の情報交換を行うことにより、水土里ネット関係者の運動意欲の高揚と意識改革を進め、国民に運動の成果をアピールすることにより、21創造運動の更なる発展と新たな展開に資する。

2. 表彰の実施主体

全国水土里ネット及び都道府県水土里ネット

3. 表彰の対象

21創造運動に積極的に取り組み、全国の模範となる運動を行うか、又は、他の行う運動に対して示唆を与える運動を行っている水土里ネット。

4. 賞の名称及び受賞の対象

(1) 賞の名称

21世紀土地改良区創造運動大賞、21世紀土地改良区創造運動大賞部門賞及び21世紀土地改良区創造運動さなえ賞

※略称は各々「21創造運動大賞」、「21創造運動大賞部門賞」及び「さなえ賞」とする。

※ただし、地方で設置する表彰については、地方ブロックの判断により、独自の取り組みとして実施することは、これを妨げない。

(2) 受賞の対象

① 2 1 創造運動大賞

中央選考委員会において、特に優れた運動を展開している水土里ネット（概ね4地区程度とする）。

② 2 1 創造運動大賞部門賞

中央選考委員会において、設定した部門において優れた運動を展開している水土里ネット（概ね4地区程度とする）。

③ さなえ賞

運動を開始して2年以内で、今後の運動の発展が大いに期待できる水土里ネット

④ 2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞の再受賞

2 1 創造運動の趣旨を踏まえ、過去に2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞を受賞した水土里ネットが、再び2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞を受賞することを妨げないものとする。

さなえ賞については、これを1回限りとする。

5. 選定する機関

(1) 都道府県水土里ネット

都道府県水土里ネットを第1次選定機関と位置づける。

(2) 事前選考会

全国水土里ネットを事務局とした事前選考会を設置し、2 1 創造運動表彰選定の第2次機関と位置づける。

事前選考会は、農林水産省担当部局の参画を得る。

(3) 中央選考委員会

全国水土里ネットを事務局とした中央選考委員会を21創造運動表彰選定（第3次選定（最終選定））機関と位置づける。中央選考委員会は、学識経験者等の第三者委員の参画を得る。

なお、中央選考委員会の委員は、全国水土里ネット会長が委嘱する。

6. 選定の方法

(1) 第1次選定（都道府県水土里ネット）

都道府県水土里ネットが管内の21創造運動大賞候補水土里ネット（1地区）を選定し、全国水土里ネットに推薦（別紙様式-1）する。

併せて、さなえ賞水土里ネット（原則として1地区）を決定し、全国水土里ネット会長に報告（別紙様式-2）する。

なお、選定等に当たっては、必要に応じて、都道府県と連携を図るほか、関係行政機関の支援を受けるものとする。

(2) 第2次選定（事前選考会）

事前選考会は、都道府県水土里ネットから推薦された水土里ネットの申請調書について、客観的な評価に基づいて選考を行い、中央選考委員会で選考する21創造運動大賞及び21創造運動大賞部門賞の候補を絞り込む。（概ね8地区程度とする）

なお、事前選考会において、別添選考基準の5に該当する水土里ネットがある場合は、全国水土里ネットより当該水土里ネットを推薦した都道府県水土里ネットに通知する。

通知を受けた都道府県水土里ネットは、当該水土里ネットと協議の上、21創造運動表彰への推薦を取り下げ、農業農村整備優良地区コンクールの農村振興整備部門への推薦とすることを決定の上、その結果を全国水土里ネットに報告するものとする。

(3) 2 1 創造運動大賞選定（中央選考委員会）

中央選考委員会は、事前選考会によって2次選定された水土里ネットの運動について、申請者自ら発表し、それについて客観的な評価及び審査を行ったうえで、2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞の水土里ネットを決定する。

なお、中央選考委員会は、別途2 1 創造運動にかかる特別賞を選定することができる。

(4) 審査結果の通知

① 2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞等

事前選考会の審査結果については、全国水土里ネットより推薦された都道府県水土里ネットに通知する。

2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞等の対象となった水土里ネットについては、全国水土里ネットより、各々の審査結果を関係機関に通知する。

② さなえ賞

さなえ賞に決定した水土里ネットについては、都道府県水土里ネットが、結果を関係機関に通知する。

7. 選考基準

(1) 2 1 創造運動大賞及び2 1 創造運動大賞部門賞

各選定機関においては、中央選考委員会での検討を踏まえて決定された「2 1 世紀土地改良区創造運動大賞・部門賞選考基準」に基づいて審査・選考を行う。

(2) さなえ賞

都道府県水土里ネットにおいては、中央選考委員会での検討を踏まえて決定された次の①から③の選考基準に基づき決定する。

- ①運動を開始して2年以内の地区であること
- ②他地区の手本となるような、きらりとした運動に取り組んでいること
- ③運動の今後の発展が大いに期待できる地区であること

8. 参加申込方法

(1) 21 創造運動大賞

都道府県水土里ネットは、選定した水土里ネット（1地区）の21世紀土地改良区創造運動大賞申請調書（別紙様式-1の別添様式）を当該水土里ネットと協力して作成し、21創造運動大賞推薦書と併せて全国水土里ネットが定める期日までに同事務局に提出する。

(2) さなえ賞

さなえ賞に決定された水土里ネットは、21世紀土地改良区創造運動さなえ賞調書（別紙様式2の別添様式）を都道府県水土里ネット事務局が定める期日までに同事務局に提出する。

9. 表彰

(1) 21 創造運動大賞

21創造運動大賞の表彰は、別途全国水土里ネット会長が行う。

(2) 21 創造運動大賞部門賞等

21創造運動大賞部門賞等の表彰は、別途全国水土里ネット会長が行う。

(3) さなえ賞

さなえ賞の表彰は、別途全国水土里ネット会長が行う。

10. その他

表彰制度の枠組みについては、実施状況等を踏まえ、中央選考委員会において再評価したうえで、必要に応じて見直しを行う。

11. 平成27年度実施スケジュール

項 目	時 期
1. 平成27年度実施通知	5月下旬発出
2. 第1次選定、さなえ賞選定：都道府県水土里ネット	6月上旬～9月上旬
3. 中央選考委員会による現地調査（過年度受賞地区）	未 定
4. 21創造運動大賞推薦締め切り 及びさなえ賞の報告（全国水土里ネットあて）	9月10日
5. 第2次選定：事前選考会	10月
6. 第3次選定：中央選考委員会、決定通知	11月
7. 表彰式	年度末の表彰式

21世紀土地改良区創造運動大賞・部門賞 選考基準

項 目	内 容
1. 運動の取り組み体制	<p>①役職員だけでなく、総代や組合員に運動への理解が浸透している。</p> <p>②運動を担う人材の育成に取り組んでいる。</p>
2. 運動の意味性	<p>①基本理念や目標を立てて取り組んでいる。</p> <p>②水土里ネットの特徴や地域資源等を生かした運動となっている。</p> <p>③それぞれの運動が総花的でなく、上記①に沿って位置づけられている、または相互に関連性をもって位置づけられている。</p>
3. 運動の継続性・発展性	<p>①身の丈にあった、無理のない運動となっている。（予算面も含めて。）</p> <p>②取り組みの浸透や継続、広がりを促すための工夫を行っている。（他組織との人的連携、人材の育成、実施内容の工夫、脱ルーチンワークなど。）</p> <p>③水利施設の役割及びその重要性並びに水土里ネットの仕事を理解してもらう内容が盛り込まれた運動となっている。</p>
4. 運動の成果	<p>以下の観点から、水土里ネットの存在価値を高める成果につながっている。</p>

<p>a.組合員等の組織運営への参画・活性化への貢献（組織活性化）</p> <p>b.地域農業の振興への貢献（地域農業）</p> <p>c.地域コミュニティの再生強化（地域コミュニティ）</p> <p>d.施設管理や地域資源の保全強化（地域資源管理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員のみならず、総代や組合員の意識が向上し、改良区運営や事業の取り組みなどに積極的に参画し、組織が活性化した。 ・地域農業の振興に積極的に取り組むなど、先導的な組織となっている。 ・運動を通じて、地域住民や自治組織、小学校等と密接な関わりや信頼関係を築き、地域コミュニティの再生や強化に貢献している。 ・多様な主体の参加を得た、施設の維持管理、農業用水や農地を守るなどの運動を通じて、地域資源の保全強化につながっている。
<p>5. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業の有する多面的機能の発揮に関する法律」に基づく「多面的機能支払制度」又は「中山間地域等直接支払制度」に積極的に参画し、活動が土地改良区内にとどまらず、周辺地域にも十分及んでいる地区については、農業農村整備優良地区コンクールの農村振興整備部門での選考も検討する。

各部門における具体的な活動内容

部門	具体的な例示（イメージ）
<p>組 織 活 性 化</p>	<p>土地改良区の果たしてきた役割・新たな役割・存在意義等について、役職員のみならず、総代や組合員の意識向上を図り、改良区運営への積極的な参加・協力、事業の推進などを促す運動となっている。</p> <p>○水土里ネットの役割や意義、今後のあり方等について、定期的に総代単位で説明会を実施するなど、内部運動を積極的に行っている。その結果として、活動に対する理解や参画が増えてきたほか、理事会や総会等でも活発な意見が出るようになった。</p> <p>○役員の勉強会・先進地研修などを積極的に行い、成果を組合員等に啓発しながら、土地改良区の組織運営や課題の検討などに活かしている。</p> <p>○理事会、総代会において 21 運動活動として土地改良区の役割や組織運営の課題を定期的に議論するなど、意識の向上に努めている。</p> <p>さらに、役員は組合員に機会あるごとに 21 創造運動を啓発するなど、内部運動の充実を図っており、事業推進に対する理解や合意形成などにつながっている。</p> <p>○土地改良区の活性化や人材育成のために、多くの職員が企画・プレゼンテーション技術の習得、各種 研修会への派遣やホームページ作成の技術研修など、運動の向上と後継者育成に取り組んでいる。</p> <p>○総代全員による農業用水利施設点検会を実施し、総代が地元のみならず地域全体を把握し、運営管理に当たっている。また総代が地元の説明することで、組合員にも点検会の成果が浸透し、事業の円滑な推進にも寄与している。</p> <p>○総代・役員による水源地現地研修会を継続的に実施し、水源や分水、堰など土地改良施設を視察して廻り、農業用水への理解と意識を高めている。施設の状況を知らない総代もいたことから、現地の研修により、その後の総代の改良区運営への積極的な参画が図られている。</p>

	<p>○農作業体験や施設見学会にあたって、役職員のみならず、総代・組合員もインストラクターや指導員の資格を取得して、総代・組合員が役割分担して積極的に参画することとなり、土地改良区組合員間の相互理解が深まり、事業の円滑な推進に寄与している。</p>
<p>地 域 農 業</p>	<p>担い手の確保・集積、農地の保全や耕作放棄地対策、6次産業化の推進など、地域農業の振興に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○ほ場整備事業を契機に、1 集落 1 農場を基本理念に営農組織を立ち上げるために、21 創造運動を通じて地区農家の意識醸成を図り、農業研修会、用水管理のブロックローテーション化や共同防除の推進など、営農組織化を促すための取り組みを水土里ネットが積極的に行い、農事組合法人が立ち上げられた。</p> <p>○事業を契機に、山間地における土地利用調整に積極的に関与し、耕作放棄地の解消や 1 集落 1 農場方式の農事組合法人の設立を促すなど、地域農業の振興に寄与している。</p> <p>○水土里ネットの役員に「法人化担当理事」を設け、営農組合の立ち上げ及び法人化に水土里ネットが深く関わった。また、集落営農組織の視察研修に取り組んでいる。</p> <p>○農家に対する土づくり研修会や地元農産物の直売への支援を通じて、地域農業の発展に取り組んでいる。</p> <p>○地区内家畜糞尿の堆肥利用、牛や羊による雑草防除の試行などにより、耕作放棄の発生防止とともに、農業と地域の自然環境との調和に取り組んでいる。</p> <p>○JA、営農組合、学校給食などとの多様な主体の連携により、環境に優しい、安全安心の「減農薬、無化学肥料農法」を推進して地産地消にも貢献する他、加工品とともに直売所で販売し、6次産業化に取り組むことなどにより、地域農業の発展のみならず、地域の雇用創出にも寄与している。</p>

部門	具体的な例示（イメージ）
地 域 コ ミ ユ ニ テ ィ	<p>地域住民や自治組織、小学校等との連携による取り組みを通じて、地域コミュニティの再生や地域の活性化に貢献している。</p> <p>○農業体験の他、祭、伝統行事の継承などに積極的に取り組み、子供から高齢者まで、地域住民間の交流や世代間の交流が生まれ、地域コミュニティが活性化された。その結果、最近まで途絶えていた地域行事が復活した。</p> <p>○総合学習の取り組みを通じて、生き物だけでなく、農業施設の役割や多面的機能の理解に発展し、子供たちを通じて地域住民の理解が深まり、徐々に実施小学校の数が増えてきており、これが契機になって、これまで参加していなかった地元の祭りなどにも参加していくようになった。</p> <p>○総合学習や出前授業、施設見学会などが教師や父兄からも高い評価を得ており、学校からの継続的な実施要請を受け、恒例の行事として定着している。</p> <p>○出前授業等を通じて、子供達が水土里ネットの理解者に育つとともに、子供を通じて父兄や地域住民の水土里ネットに対する理解が広がり、地域との連携体制が構築され、水土里ネットの活動に積極的に協力してもらえるようになった。</p> <p>○多面的機能支払又は中山間地域等直接支払に水土里ネットが積極的に関与することにより、地域活動がきっかけとなって、地域住民との交流が深まり、地元の伝統行事にも水土里ネットが参加するなど、地域の活性化にも寄与している。</p>
地 域 資 源 管 理	<p>多様な主体の力を活用しながら、農業水利施設等の維持管理、農業用水や農地を守る保安全管理に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○地域と連携した施設の管理に長年取り組むとともに、用水路等を利用した防火用水の利用を図り、消防署との維持管理協定を締結するなど、維持管理体制の強化に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○親水施設や遊歩道の管理について、町内会等、財産管理者と水土里ネット間で管理支援協定によ</p>

る管理のルール化を図り、施設の継続的な保全に取り組んでいる。

- 地域住民が共同で行う農道・水路の草刈り、用排水路の浚渫などの維持管理活動を「コンテスト形式」で採点・表彰する取り組みを行っている。

その結果、維持管理に対する住民の意識高揚が図られ、施設の良好な管理につながっている。

- 水土里ネットとして、多面的機能支払又は中山間地域等直接支払に水土里ネットが積極的に関与することにより、地域住民と一体となって農地や農業用水等の保全に取り組む体制が整備された。

- 「用水施設巡視員」として、証明書を発行して巡視活動を地域住民のボランティアに委託するなど、地域住民参加型の維持管理体制を構築している。

- 21 創造運動を通じて環境施設（ビオトープ）づくりを推進し、これをきっかけに地域住民や PTA が新たな管理団体を設立し、施設の維持管理等に取り組んでいる。

- 都市近郊の農空間を保全するため、都市住民に農業体験の場を提供する他、都市住民によるボランティア組織を立ち上げた。このことにより、都市住民が水路等の管理作業に協力してもらうようになった。

21世紀土地改良区創造運動さなえ賞 選考基準

- ① 運動を開始して2年以内の地区であること
- ② 他地区の手本となるような、きらりとした運動に取り組んでいること
- ③ 運動の今後の発展が大いに期待できる地区であること

※上記②、③の評価に当たっては、以下に示す21世紀土地改良区創造運動さなえ賞「評価の視点」を参考にしてください。

21世紀土地改良区創造運動さなえ賞「評価の視点」

1. 運動の取り組み体制

- ① 役職員が運動の目的を理解し、運動を推進する意志と姿勢を有している。
- ② 組合員に対し、運動に対する理解を浸透させる取り組みを行っている。

2. 運動の意義性

- ① 基本理念や目標を立てて取り組んでいる。
- ② 水土里ネットの特徴や地域資源等を生かした運動となっている。

3. 運動の発展性、継続性

- ① 身の丈にあった、無理のない運動となっている。(予算面を含めて)
- ② 具体的な将来計画や展望を持っており、今後、運動の発展性、継続性が期待できる。
- ③ 水利施設の役割及びその重要性並びに水土里ネットの仕事を理解してもらう内容が盛り込まれた運動となっている。

4. 運動の成果

以下の観点から、今後、水土里ネットの存在価値を高める成果につながることを期待される。

a. 組合員等の組織運営への参画・活性化への貢献（組織活性化）

- ・ 役職員のみならず、総代や組合員の意識が向上し、改良区運営や事業の取り組みなどに積極的に参画し、組織の活性化が期待される。

b. 地域農業の振興への貢献（地域農業）

- ・ 地域農業の振興に積極的に取り組むなど、先導的な組織となることが期待される。

c. 地域コミュニティーの再生強化（地域コミュニティー）

- ・ 運動を通じて、地域住民や自治組織、小学校等と密接な関わりや信頼関係を築き、地域コミュニティーの再生や強化への貢献が期待される。

d. 施設管理や地域資源の保全強化（地域資源管理）

- ・ 多様な主体の参加を得た、施設の維持管理、農業用水や農地を守る等の運動を通じて、地域資源の保全強化につながることを期待される。

平成27年度 21世紀土地改良区創造運動大賞推薦書

平成27年 月 日

全国土地改良事業団体連合会 会長 殿

〇〇〇土地改良事業団体連合会
会 長 印

下記水土里ネットを推薦いたします。

記

1. 推薦水土里ネット
・水土里ネット〇〇〇^{ふりがな}

2. 推薦理由

水土里ネット〇〇〇

3. 添付書類

21世紀土地改良区創造運動大賞申請調書（別紙様式1の別添様式）
（※文書の他、データでも提出願います。）

平成27年度 21世紀土地改良区創造運動さなえ賞決定報告書

平成27年 月 日

全国土地改良事業団体連合会長 殿

〇〇〇土地改良事業団体連合会

会 長 印

下記水土里ネットを決定したので報告いたします。

記

1. 水土里ネット名
ふりがな
・水土里ネット名

2. 添付書類

21世紀土地改良区創造運動さなえ賞調書（別紙様式－2の別添様式）

（※文書の他、データでも提出願います。）

(別紙様式－２の別添様式)

平成 年度 21世紀土地改良区創造運動さなえ賞調書

都道府県名		ふりがな 水土里ネット名	
水土里ネットの概要			
ふりがな ①理事長名： ②所在地：〒 電話： ③受益面積： ha (水田 ha、畑 ha、樹園地 ha) ④組合員数： 名 ⑤役職員数：役員 名、職員 名			
水土里ネットにおける運動の概要			
・運動への取り組みの経緯、きっかけ (選考基準-①) (その取り組みが運動を開始して2年以内であることを明示すること。)			
・運動の概要 (選考基準-②、③)			
さなえ賞受賞理由			

(別紙)

都道府県名		水土里ネット名	
(活動状況の写真)			

(注) 写真には、必ず注釈を付けてください。

2 1 世紀土地改良区創造運動大賞

申請調書

都道府県名：_____

フリガナ
水土里ネット名：_____

作成上の注意

- ※1 申請書記入の際は、フォントMS明朝・サイズ12.0とし、10頁以内（表紙含まず）でまとめて下さい。
- ※2 過去に21創造運動大賞を受賞した水土里ネットの再申請については、前回申請時以降に新たに取り組んだ運動内容や取り組み体制の見直しなどの内容等が判るように記入して下さい。
- ※3 中央選考委員会では、この申請書をもとに審査を行います。

【位置図】

<p>※ 水土里ネットの受益地域及び事務所がわかる図面を添付してください。 また、都道府県内における位置がわかるよう図示してください。</p>	<p>県内の位置</p>
---	--------------

I 水土里ネットの概要

1. 水土里ネットの概要

- 水土里ネット名： ふりがな _____ ・ 理事長名： _____
- 役職員数： 役員 _____ 名、 職員： 常勤 _____ 名、 非常勤 _____ 名
- 組合員数： _____ 名
- 受益面積： _____ ha (水田 _____ ha、 畑 _____ ha、 樹園地 _____ ha)
- 住 所： _____
- 連絡先： 電 話 _____ F A X _____
 U R L _____ E-mail _____
- 水土里ネット設立の経緯： _____

(昭和24年の土地改良法制定以降の設立、合併等の経緯を記入願います。)

2. 地域の特徴

(水土里ネットの特徴や地域資源の状況が把握できるよう、自然環境、営農の特徴、歴史・文化などを簡潔に記述してください。)

II 運動の取り組み体制と継続性・発展性

1. 運動の体制

(1) 主となる取り組みに参画している方にチェックを入れて下さい。(複数可)

また、21創造運動に対する取り組みの姿勢や意識(変化等含む)について記入して下さい。

役員

職員

総代

組合員

(2) 運動を担う後継者、人材育成の取り組み

2. 財政的な対応

(1) 財源状況

主となる取り組みの財源について該当するものにチェックを入れて下さい。(複数可)

自主事業を活用している。

補助事業を活用している。

他の機関から財政的な支援を受けている。

活動によっては、参加者から参加費用をいただいている。

(2) 継続していくための財政的な工夫

.....
.....
.....
.....
.....

Ⅲ 運動の背景と基本理念・目標

1. 運動の背景

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

2. 運動の基本理念・目標及び決定機関

(1) 運動の基本理念、目標

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

(2) 21 創造運動の決定機関

(該当するものにチェックを入れて下さい。)

- 水土里ネット総（代）会
- 水土里ネット理事会
- 水土里ネット内部（事務局レベル）

IV 対象となる21創造運動の活動

(活動毎に、該当する内容を1～2頁程度でまとめて記述して下さい。)

■ No _____ 活動名 _____

活動部門：組織活性化 地域農業 地域コミュニティー 地域資源管理
多面的機能支払 中山間地域等直接支払

①開始時期：平成 _____ 年度～ ②開催数： _____ 回／年

③実施形態：主催 共催 協力 その他 (_____)

④連携団体：団体名 _____

⑤活動経費： _____ 千円 内訳 補助金 _____ 千円 (事業名： _____)

支援団体 _____ 千円 (団体名： _____)

自主財源 _____ 千円

⑥活動内容

⑦取り組みの工夫

⑧取り組みの成果

⑨マスコミ等への掲載について (取り上げられたメディアがあれば記述して下さい。)

H27 21 創造運動大賞申請書

⑩参加状況 (延べ数) ※該当する場合は記述して下さい。団体は参画した団体・組織数を記述して下さい。

年度	参加者数					スタッフ数 (内数)	参画団体数 行政 土連等	参加者 数計
	水土里ネット			一般				
	役員	職員	組合員	小中高生	その他			
23								
24								
25								

⑪活動状況写真

活動写真添付欄 1	活動写真添付欄 2
添付写真説明 1	添付写真説明 2

※写真は、各活動毎に2～3枚程度に整理し、添付して下さい。

V 多面的機能支払、中山間地域等直接支払への関わり

①実施地区数 _____カ所 ②実施面積 _____ ha

③活動組織の構成 (構成員等を記述してください。複数の地区がある場合は、代表的な地区を記述して下さい。)

.....

.....

.....

④活動内容

.....

.....

.....

⑤水土里ネットの関わり

(活動組織、対象地域との関わり、またどのような支援を行っているか具体的に記述して下さい。)

.....

.....

.....

